



佐藤クリスタル

国際交流員コーナー

CIR's Corner

2024年7月 - 第26号



皆さん、こんにちは！江別市国際交流員の佐藤クリスタルです。「国際交流員コーナー」とは、私が毎月作成する国際交流や多文化についての記事です。様々な興味深い国際的なテーマを紹介します。

今月のテーマ：サマーキャンプ

7月から、日本では夏休みが始まりますが、アメリカでは、6月から始まります。ですので、7月は夏休みの真っ最中です。[2022年8月の国際交流員コーナー](#)では、アメリカの夏について少し紹介しましたが、今回は、サマーキャンプについて紹介します。

アメリカの子供たちは、6月中旬から9月上旬までの長い夏休みがあります。一方で、働いているアメリカ人たちは、年次有給休暇が平均的に11日しか付与されません。ということは、夏休み中、親は子供たちの面倒を見られないことが多いです。子供たちが安全で有意義な夏休みを過ごすために、サマーキャンプに行かせる親がたくさんいます。



一般的なサマーキャンプ。コテージが立ち並んでいます。

サマーキャンプというのは、小中高生向けの夏のプログラムです。その名が示す通り、大自然の中でハイキングや水泳などのアウトドアスポーツを体験できるプログラムが多いですが、様々な場所で様々な活動をするプログラムがあります。宿泊も含まれているサマーキャンプと日中だけの「デーキャンプ」もあります。期間は、1、2週間程度が一般的です。キャンプを担当する人は「カウンセラー」といい、高

校生と大学生が多いです。なぜかという、高校生と大学生も夏休みなので、サマーキャンプのカウンセラーは人気の短期アルバイトだからです。



カウンセラーと水泳を楽しむ子供たち

私はほぼ毎年サマーキャンプに行きました。小学校の低学年の時は、教会の「バイブルキャンプ」に参加しました。毎日聖書を読み、聖書にちなんだ遊びや図工をしました。楽しかったです。

バイブルキャンプはデーキャンプでしたが、泊まるキャンプに初めて参加したのは、9歳の時でした。1週間、快適な二段ベッド付きのコテージに泊まり、森の中で過ごしなが、他の小学生との交流を楽しみました。9歳の時に参加したサマーキャンプは、都会の低所得地域に住んでいる子どもが自然を体験するためのプログラムでした。参加料が高いサマーキャンプが多いですが、このようなプログラムもあるおかげで、貧乏な私でもサマーキャンプに参加できました。



二段ベッド。枕とブランケットを用意してくれるキャンプもあります。

また、中学生の時は、友達に誘われ、教会が開催している女子専用の「カールズキャンプ」に3年連続参加しました。今回は、コテージやテントではなく、半分オープンな建物で寝ました。ベッドやマットレスもなく、木の板の上に、キャンピング用のマットと寝袋を敷きました。雨に降られないように屋根がありました。壁が二つしかなかったため、まるで外で寝ているような感覚でした。虫が多く、夜は寒かったです。ご飯は、みんなで協力して作りました。焚火を起こし、ダッチオーブンで調理しました。ダッチオーブンで作ったパン、チリコンカン、そしてラザニアは特に美味しかったです。トイレは、水が流れない外便所でした。シャワーはありましたが、キャンプから歩くのがとても遠かったです。シャワーの代わりに、毎日川で泳いで何とかきれいになりました。しかし、カスケード山脈にある氷河を水源とする川が非常に冷たく、真夏日でも低体温症になった子が毎年何人かいました。小学校の時に参加していたサマーキャンプと比べて、快適さに欠けていましたが、それも良い経験で、強くなりました。



このような建物で寝ました。

ところで、そのガールズキャンプは、中学生はまだ屋根の下で寝たり、外便所やシャワーを使ったりすることができましたが、高校生になると、「4年目ハイキング」に参加しなければなりません。完全にテント生活で、トイレもシャワーもありません。「キリストへの信仰を強める」という目的でしたが、私は宗教を別に信じていなく、何日間のきつい登山に行っても信じるわけがないので、中学校の卒業とともに、友達とガールズキャンプに行かなくなりました。

高校の時は、お泊りのサマーキャンプにもう興味がなかったのですが、アルバイトのようなキャンプに参加しました。これも低所得地域に住んでいる高校生を対象にしたプログラムで、期間は3～4週間で

した。毎朝、高校で集合し、スクールバスでシアトルから約30km東に向かい、シアトル市教育委員会が所有している森林に行きました。そこで、まず、ワシントン州の在来種の植物について学びました。それから、その知識を生かし、森の中で様々な作業をしました。例えば、外来種のツタを発見した場合、それを除去したり、GPS を使い、在来種の木的位置を記録し、森の地図を作ったりしました。かなりハードな作業でしたが、新しい友達ができ、お金も少し稼いだので、参加してよかったと思います。



クリーブランド記念の森というシアトル市教育委員会が所有している森。1944年に、シアトル市にあるクリーブランド高校の生徒たちが第二次世界大戦で亡くなった生徒たちの記念に、300ドルで約53ヘクタールの土地を買い、木を1万本以上植えました。

サマーキャンプは多くのアメリカ人にとって、忘れられない貴重な経験です。そして、友達の話によると、カナダでもサマーキャンプは大人気だそうです。日本では、夏休みでも宿題や部活があるので、北米と比べて忙しい夏休みですが、娘が大きくなったら、機会があれば、サマーキャンプに行かせたいと思っています。★



毎晩、星空の下で焚火を囲み、怪談やガールズトークをしました。



お問合せ先
教育部 生涯学習課 国際交流員
〒067-0074 北海道江別市高砂町 24-6
Tel:011-381-1049 Fax:011-382-3434

